

『ASTERIA Warp』が国内企業データ連携ソフト市場で 15年連続市場シェアNo.1を達成！

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、アステリア）は、民間調査会社の株式会社テクノ・システム・リサーチ（本社：東京都千代田区、代表取締役：藤田正雄、以下、テクノ・システム・リサーチ）の調査の結果、2020年における国内EAI/ESB※ソフト市場で主力製品『ASTERIA Warp（アステリアワープ）』が15年連続シェアNo.1（出荷数量ベース）を達成したことを発表します。

■ テクノ・システム・リサーチによる調査概要

テクノ・システム・リサーチの「2021年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」によると、2020年のEAI/ESB 製品市場規模は約150億円で、数量ベースでは2,614サイトに対して出荷されました。こうした中、ASTERIA Warpの出荷数量は1,150サイトとなり、市場シェア44.0%（出荷数量ベース）を記録、15年連続で市場シェアNo.1を達成しました。この市場シェアは2位の製品が有するシェアの約1.5倍と同分野の製品の中で引き続き圧倒的な支持をいただいていることの裏付けとなりました。



独自のフローデザイナーによるノーコードの高速開発環境を提供 kintoneやSlackをはじめとするクラウドサービスとの連携機能を強化

フローデザイナーの操作画面を示すスクリーンショット。画面には、ワークフローの構造が可視化され、各アクション（如き Slackへポスト）とその設定が詳細に表示されている。右側には「kintoneビルダー」のパネルがあり、API連携の設定や関連条件の確認が可能。

※参考データ：EAI/ESB 市場規模推移／見通し

単位：数量（サイト数）

項目	2020年 [実績]	2021年 [見込]	2022年 [予想]	2023年 [予想]
数量 (前年比)	2,614 (102.9%)	2,766 (105.8%)	3,012 (108.9%)	3,159 (104.9%)

（出典：テクノ・システム・リサーチ「2021年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」）

＜テクノ・システム・リサーチによる市場展望＞

EAI/ESB 市場は、2020 年で数量ベースが 2,614 サイト、ライセンス売上金額は 150 億 5,500 万円となっている。数量ベースでは前年比 102.9%、ライセンス売上金額では前年比 93.8% となっている。マイナス要素があったものの、数量ベースでは市場は伸長している。在宅勤務・リモートワークと RPA に関連した業務自動化ニーズを背景に、新型コロナウイルスの影響下でも売上を拡大させたことが要因となっている。今後は、クラウドシフトが加速した結果、EAI/ESB 市場においても SaaS へのシフトが進んで行く見通しとなっている。

【ASTERIA Warp の市場シェアに関する解説】

2020 年、数量ベースの市場シェアは ASTERIA Warp が 44.0% でトップシェアとなっている。ASTERIA Warp は在宅勤務・リモートワークや RPA に関連した業務の自動化ニーズを背景にシェアを拡大している。サブスクリプションライセンスも新規案件や新規ユーザーの獲得に貢献している。

■ 今後の ASTERIA Warp ビジネスの展開

アステリアの ASTERIA Warp は順調な拡大を継続し、現在の導入社数は 9,300 社を突破するとともに、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 15 年連続シェア No.1 を継続しています。2022 年度 3 月期第 1 四半期決算では、テレワークに対応した社内システムの構築など、新たな連携ニーズが拡大していることから、サブスクリプション型製品「ASTERIA Warp Core」に加えてライセンス版の販売も過去最高を記録。また、DX 推進における IT 人材不足の解消手段として、ノーコードを利用した内製でのデータ活用ツールとしての導入事例が増えています。

今後も引き続き、ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに社会の要請に応じた機能強化を継続することで、オフィス業務の効率化・自動化を実現します。また、データの連携の活用により、業務プロセスの省力化や残業時間の削減、リモートワーク環境下での新しい生活様式における適用の拡大も推進する方針です。



kintone 連携フローを作成している様子

■ 『ASTERIA Warp』について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>）

『ASTERIA Warp』は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。

■ 『アステリア株式会社』について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社（2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,398 社（2021 年 6 月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,618 件（2021 年 6 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

※：企業データ連携=Enterprise Application Integration / Enterprise Service Bus の略

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL:03-5718-1297／携帯:080-7709-5212（齋藤）／E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出 武也

TEL:03-5718-1250／E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。